



創 立：1980年(昭和55年)1月10日
 会 長：岩田 修司
 幹 事：堀 慎治
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生
 例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
 会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 T E L：052-211-3803
 F A X：052-211-2623
 M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014～2015年度
 国際ロータリーのテーマ
 Light up Rotary
 ロータリーに輝きを

2014～2015年度
 国際ロータリー第2760地区
 ガバナーのテーマ
 集まろう・語ろう・楽しもう

2014～2014年度
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
 感謝の気持ちを持って、
 ロータリーライフを楽しもう

第1670回例会

～職業奉仕月間・米山月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2014年10月30日(木) 晴 第17回

司 会：鈴木淑久会場委員
 斉 唱：「我等の生業」
 ゲ ス ト：地区米山奨学委員会 伊藤敦夫委員長
 ビ ジ タ ー：名古屋南RC 鶴田欣也さん

会長挨拶

岩田修司会長

明日31日は、ハロウィンでございます。錦の飲み屋街においては、仮装した女性を大勢見かける事だと思えます。

もともと、ハロウィンは古代ケルト人が起源と考えられ、秋の収穫を祝い、悪霊などを追い払う宗教的な意味合いのある行事だったそうです。しかし、このケルト人が自然崇拝からケルト系キリスト教、カトリックと改宗していく過程で、ケルトの収穫祭に合わせて、カトリック教会の諸聖人の日が前の晩にあたる事から、All Hallows・eve-Hallows・eve-Halloweenと呼ばれる様になったとの事です。しかし、10月31日はカトリック教会としては、教会の宗教行事、公式行事では無いとして、民間行事として楽しむのはいいよという事で、容認したようでございます。



31日の夜は、カボチャをくり抜いた中に、ローソクを立てて「ジャック・オー・ランタン」を作り、魔女やお化けに仮装した子供達が近くの家を1軒ずつ訪ねては、「Trick or Treat(トリック・オア・トリート)ごちそうをくれないといたずらするよ」と唱え、家庭ではカボチャのお菓子を作り、子供達はもらったお菓子を持ち寄り、ハロウィンパーティーを開くという事だそうです。

思い出すのは、今から22年ほど前、日本人留学生の服部さん(名古屋市出身、当時16歳)が訪問しようとした家を間違え、別の家を訪問したところ、フリーズ(動くな)と言われたのを、フリーズと聞き間違い、近づいていったところを射殺されてしまったという事件がございました。

刑事裁判では、12名の陪審員全員一致で無罪という事でありました。民事裁判では正反対の結果となり、正当防衛ではなく、殺意をもって射殺したとして、7000万円を支払うよう命令する判決が出されています。

ちなみにアメリカでは、玩具の銃で遊んでいた子供達を今まさに銃を発砲しようとしている凶悪犯と間違え、射殺後に玩具で遊んでいた子供だと判明するケースもあり、本物と混同しやすい(水鉄砲など)遊戯銃は禁止されているそうです。

しかし、ユネスコの調査によると実際はアメリカよりもベネズエラやブラジルの方が銃による死亡率は遥かに高いとの事です。来年6月ロータリーのブラジル国際大会に行かれる予定の方は、くれぐれも気を付けて行った方がいいと思います。

ニコボックス

内田久利ニコボックス委員

・10月25日は妻、香(カオリ)の誕生日でした。キレイなお花をいただきありが

とうございました。私は当日、旧友と再会のため終日留守にしており、ご機嫌斜めを回復させるため、苦労の日々です。 田中 宏さん

・WFF、よろしくお祈りします。伊藤地区米山奨学委員長、卓話を期待しております。 近藤 雄亮さん

・寒くなってきました。 内田 久利さん

・伊藤委員長、本日はご苦労さまです。また、日頃は米山委員会でお世話になっております。今日は出張の為お会いできませんが、よろしくお願い致します。 関谷 俊征さん

・伊藤委員長、本日はよろしくお願い致します。 堀 慎治さん

・今週末のWFFでは皆様にご迷惑おかけしますが、よろしくお願い致します。伊藤委員長、卓話よろしくお願い致します。 鈴木 淑久さん

・八木沢先生、大変お世話になりました。 岩本 成郎さん

・久しぶりです、皆さんお元気ですか？ 高須 洋志さん

・昨日は結婚記念日でした、42回目です。 西本 哲さん

出席報告

内田久利出席委員

会員63名 出席39名 (出席計算人数43名)

出席率 70.9% 10月23日は補填により 92.5%

幹事報告

堀慎治幹事

・本日13:40より推薦委員会をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行います。

・11月1日(土)11:30～12:30までWFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)例会を久屋大通り公園Aゾーンにて行います。

・11月6日(木)は振替により休会です。

・11月13日(木)13:40より第3回CA・第5回理事会をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行います。

卓話

地区米山奨学委員長 伊藤敦夫さん

皆さんこんにちは。地区米山奨学委員長の伊藤と申します。

日頃は米山奨学事業に対しまして、大変暖かいご理解ご支援ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

名古屋瑞穂ロータリークラブ様におかれましては、今までに10名の奨学生、今年度で寄付金累計41,335,500円の多額のご寄付を頂き、感謝申し上げます。

さて、米山記念奨学会の誕生から少し触れたいと思います。1952年12月に日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブが米山奨学制度を設立し、翌年米山基金として募集を開始、さらに翌年1954年9月初めてタイの留学生ソムチャード君を奨学生として受け入れたのが始まりであり、1957年9月に日本国内全クラブの合同事業としてロータリー米山記念奨学委員会が結成され全国組織となりました。その後、月にタバコ一箱を節約して合言葉に寄付金を募る運動がスタートしたと言うことであります。1959年に世話クラブ制度を設置、1971年からカウンセラー制度も導入し奨学生の個人的ケアにあたっています。1967年7月には文部省からの許可を得て、財団法人ロータリー

米山記念奨学会が設立され現在に至っています。
ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリー独自の事業で、全地区による合同プロジェクトです。日本で学ぶ優秀な外国人留学生に奨学金を支給し、支援しています。



米山奨学生は年間約700人、累計で世界123の国と地域から18,104人を支援しています。これは、外国人留学生を対象とする民間奨学金としては最大規模で、今後、海外からより多くの留学生を呼び寄せようとする日本の留学生政策にも大きく貢献しています。

●なぜ、外国人留学生を支援するのか？

戦後世界の平和を願って今後日本の生きる道は平和、それをアジアに、そして世界に理解してもらう為には、多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出合い、信頼関係を築くこと。それが日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業であり、私たち日本のロータリアンにとって大いに胸を張って誇れる国際親善と世界平和の事業であると思います。事業創立から60年以上の歳月が流れましたが、民間外交として世界に平和の種子を蒔くという米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命は益々重要性を増しているのではないのでしょうか。

ロータリー米山奨学制度は他の奨学制度と大きく違う点があります。それは世話クラブ、カウンセラー制度と言う独自の制度であります。奨学生一人に地域のロータリークラブが世話クラブとなり、ロータリーとの交流の起点になっています。さらに世話クラブ会員の中からカウンセラーが選ばれ奨学生の経済的支援だけではなく、ロータリーの豊かな人的資源を活かし、精神面でも支えながら、母国を離れて心豊かな生活が送れる様、心のケアに配慮され、より深く日本を知り、ロータリーが求める平和の心を学びます。

世話クラブとなったロータリアンからも、「退屈だったロータリー観が変わった」、「何事にも一生懸命向き合う奨学生に心を打たれた。すばらしい出会いに感謝します」、といった声が寄せられています。

●寄付はきちんと使われているのか？(豆辞典7ページ～9ページ)

皆さんが米山に寄付したお金は、全額奨学事業に使われます。

●寄付金の税制優遇 (豆辞典11ページ)

●当地区の実績 (豆辞典13ページ)

残念な事に近年ロータリアンの数も10万人から8万8千人にまで減少しました。これに伴ない皆様からの愛の浄財も減少しています。昨年までは年間約800人の奨学生を全国で支援していましたが、今年度からは約700人に減りました。残念なことだと思います。

2760地区の平均寄付額は17,910円で日本の中で9位で、全国平均を上回っていますが次のグラフを見てください。会員数は日本で1位なのに黄色の寄付をしてくださった方は28.9%です。全国平均は41.2%で全国1位の2650地区は8割のロータリアンの方が寄付をなさっています。寄付をしていただける方が増えると奨学生の数が増えます。2760地区は今年度37名で来年は36名です。2650地区は会員数は当地区の半数くらいです。奨学生の数は今年度40名、来年度43名に増えています。

皆様をお願いする事は、米山奨学事業の理解を頂き、継続的な寄付増進のお願い。この先米山奨学事業を継続するに当たり、一人平均2万円が必要となります。現在各クラブにおいての普通寄付金は平均で5,000円です。これと特別寄付を合わせて一人平均、2761地区では昨年度17,910円です。これを一人平均2万円になるととても有難いです。また今年度は平均2万円を達成したクラブはガバナー賞の対象にもなります。ぜひロータリアン皆様のご協力とご支援を宜しくお願い致します。

●元奨学生、学友はどうしているのか、どんな成果が出ているのか？

奨学期間が終わった後も、ロータリーとの接点を持つために有効な組織が学友会です。学友会は、元奨学生と現役奨学生によって組織されるもの

で、現在日本に学友会が31、海外に台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴルの6か所。現在ベトナムにも学友会の予定です。

●そのうちの3人をご紹介します。

モンゴル出身の米山学友、ジャンチブ・ガルバドラッハさんは、今から12年前、モンゴルで初めての3年制高校を設立しました。日本の制服や部活動、給食制度などをとり入れた、日本式高校です。現在は小学校と中学校も併設し、世界各国へ留学生を送り出すような、非常に優秀な人材を育てています。また、ジャンチブさんは東日本大震災のとき、多くの外国人が日本から逃げていくなか、200kgもの支援物資と義援金を持って、日本へ来てくれました。現在は国際ロータリー第3450地区のフレールRC会員で、我々と同じロータリアンです。

中国の姫軍(キグン)さんは、多くの日本企業を顧客にもつ弁護士で、ヤマハ発動機を原告とする商標権侵害訴訟では、過去最高額での全面勝訴を勝ち取りました。昨年、日中関係が悪化した際は、中国にいる日本企業や駐在員の安全のため、24時間ホットラインを設けて無料相談を受けたそうです。

彼はまた、2007年から毎年50万円もの寄付金を米山奨学会へ送りつけてくれており、中国学友会を正式に発足させた初代会長でもあります。

海外で4番目となる米山学友会がタイで設立されました。この時学友会の立ち上げに尽力し、タイ学友会広報担当役員を務めています、アヌチャー・ポリブーンさん(豊橋北RC)で今年度地区大会(2月)に米山ホームカミング制度で来日が決まっており、有意義な話が聞けると思います。現在花王Thailandに就職、日本の花王本社と共同で行う数々の情報プロジェクトに関わっています。

昨年度、ロータリー米山記念奨学会では、事業創設60周年を記念して、よねやま親善大使を募集しました。80人を超える応募者の中から選ばれた、初代よねやま親善大使のお二人です。親善大使は、ロータリーや一般社会に向けて、米山奨学事業のPRをしています。右側の彼が津島RCでお世話いただき、現在山形大学で教授をなさっています。

このように、優秀な人材を世に出しているのが米山奨学事業です。日本のロータリアンが受け継いできた世界に誇る国際貢献事業であり、奨学生にとって様々な職業、世代で構成されるロータリークラブとの交流は日本文化に接し、将来や奉仕について考える良い機会となります。教育への投資は、これからの国際親善や友好など計り知れない長期的波及効果が有ります。

最後に、ロータリー米山記念奨学事業は皆様のご寄付によって支えられています。日本の文化、日本人の心を世界各国からの留学生に伝え、世界平和と発展に貢献する米山奨学事業継続のためにぜひロータリアンの皆様のお力を、ご支援をお願いいたします。

来週の近藤ガバナー公式訪問予定

11月10日(月)	あまRC
11月11日(火)	予定無し
11月12日(水)	渥美RC
11月13日(木)	岡崎東RC
11月14日(金)	尾張旭RC

例会のご案内

■今週の行事	11月1日(土) ワールドフード+ふれ愛フェスタ 場 所：久屋大通り公園(Aゾーン) 時 間：11:30～12:30
■次週	11月6日(木) 振替により休会
■次々週卓話	11月13日(木) テ ィ マ：「改革」～新しいロータリー財団へ 卓 話 講 師：地区ロータリー財団委員長 鈴木文勝さん